

が軟調
い。流
き。ら
れた。

Stray dogs in Hirakata.
(result of comb decision to prosecute Otalun-jin)

新聞 (夕刊)

第3種郵便物認可

野犬 ここまでわかった

枚方市で北大グループ 調査



いた野犬の子。人間の姿を見つげると、さっと林の中へ消
＝枚方市内の山中で

雑種の 中型が主

大阪府は住民から寄せられる苦情や情報により、年間約六千匹の野犬を捕獲している。野犬は何匹ぐらゐるのだろうか、またどこでどうやって生活しているのだろうか。北海道大学の研究グループが、全国でも珍しい野犬の実態調査を枚方市内で二年越しで続けている。アラスカの野生オオカミの研究で知られる鈴木延太郎教授(動物行動学)を中心とするグループで、これまでほとんど関心の持たれていなかった野犬の行動や実数の解明に迫っている。

(谷川 明生、河合 博司記者)

雑種の中型が主。うち七匹はオスで、それぞれ毒入りのえさを食べた場から三軒と離れていない所に横たわっていた。グループは、枚方市内から工場、住宅地区など土地利用別に六地区を選び、六百世帯にアンケートした。その結果、百五十匹を定め、四日間になつて

大阪府交野市と枚方市にまたがる山あいのゴルフ場で二カ月前、大阪府食品衛生課が野犬の駆除作業を行った。毒薬を入れた二つの頭をグリーンやバンカーなど場内十五カ所に仕掛けると、翌朝、八匹もの野犬の死体がコースのあちこちで見つ

最高1200匹えさ求め出沒

早朝の三時間、観察したところ、五十八匹を確認した。これをもとに推察すると、枚方市内には約六百十四(最低約三百五十から最高千二百匹)もの野犬がいるとしている。

また、飼犬の種類別では、雑種と純種の比率は六対四で、雑種のほとんどが中型犬。純種はいわゆる超小型のミニドッグ

し、昼間は団地内で休んでいる。飼木助教授によると、犬による咬傷(こうしやう)事故には二つのケースがある。一つは、通帯えさを食べている犬に人間



危険な 発情集団

これまでの調査から研究グループは、早急な「犬行政」の改革を呼びかけている。
①犬の登録を義務づけて、狂犬病予防法(昭和二十五年度定)は、狂犬病がほぼ撲滅された、未登録犬の数が登録犬に大幅に上回るなど現状にぞんざいなものになってきている。
部の飼主から登録料を毎年る不公平もあり、見直されべきである。
②野犬が生まれないシステムを作る必要がある。繁殖業者、販売業者、開業獣医などをリトアップし、市民の犬飼育に関する相談を行政が仲立ちする

行動半径 2キロも

が多かった。性別では、オスメスの比率が二対一と、メスに比べてオスを飼育する傾向が強く、最も多く飼われているのは、オスの雑種中型犬だった。野犬については、性別の確認ができなかったが、雑種の中型犬がほとんどだった。

昨年五月から六月にかけての十二日間、枚方市郊外で野犬と思われるオス犬を捕獲し、無線発信器を取り付けて追跡調査した。野犬の生態については、人間に化している可能性も高いとい

ころも観察された。

この十一月の調査でも、畜産団地に隣接した山中で、生まれつきの子犬が三匹、成犬が四匹集団生活しているのが確認された。道路沿いのごみ捨て場からえさを子犬に運ぶメス犬の姿も見られ、何世代も人間とかわりを持たず、すっかり野性化している可能性も高いとい

提言

元から絶つ
システムを